

## 牛体をキレイに保とう

乳房炎を防ぐために牛体が綺麗であることはとても重要です。牛の居る環境が汚れていなければ牛体を美しく保つ事ができます。今回は繋ぎ牛舎で牛床を綺麗に保つ一手段として、カウトレーナーについて考えてみましょう。

### 一. カウトレーナーの位置

カウトレーナーによる排泄位置のコントロールの仕組みと設置の目安は次の通りです。

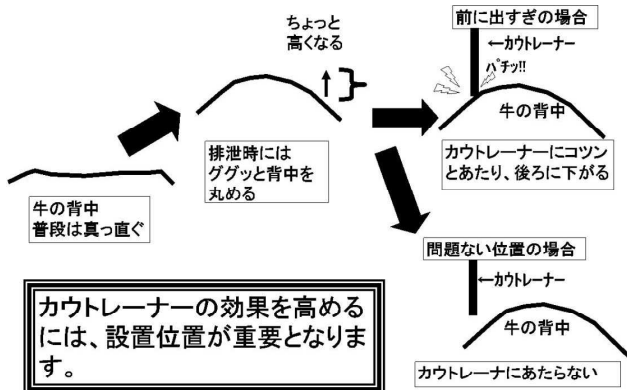


図1 カウトレーナーが効く仕組み

設置後は、こまめに見て調節をしましょう。  
また、前後のコントロールはカウトレーナーですが、左右のコントロールはサイドパーテーションで行います。

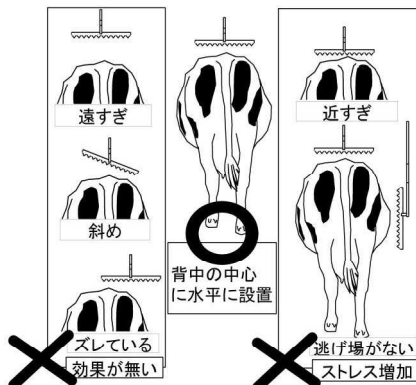


図3 背面から見た位置

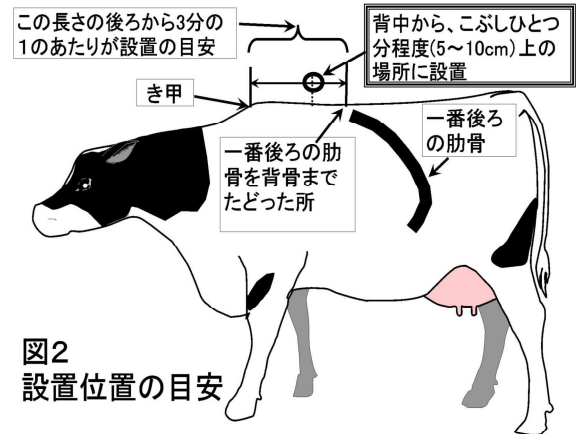


図2 設置位置の目安

### 二. 取組事例

カウトレーナーの機能をより高めるために、ワイヤーを現状よりも後方10cmずらして設置した事例を紹介します。



カウトレーナー位置変更後

●留意した点  
当初、ワイヤーの位置は20cm後ろに下げる計画でしたが、牛の大きさや牛床の長さなどを見て10cmに変更。  
設置にあたってアース用の線や銅棒を新品に取り替えました。

●実施後の声  
牛体の汚れが減り、搾乳時の清拭がしやすくなった。  
牛床が乾くようになった。  
反面、横に体を振って逃げる牛が他の牛を汚してしまう。との

声が聞かれました。

●今後の課題  
・横に逃げる牛対策としてサイドパーテーションの検討。  
・汚れをつきにくくするための乳房の毛焼き。



変更1ヵ月後



変更前

(平成二五年四月)